

特定医療法人誠仁会

大久保病院だより

No.
26
平成29年
10月1日

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 ● 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078(935)2680 FAX078(935)2684

トライやる・ウィーク

今年も「トライやる・ウィーク」の季節がやってきました。今年度は高丘中学校・大久保北中学校から各5名の中学生が、将来医療の仕事がしたい、ひとの役に立つ仕事に就きたいと大久保病院を選択してくれました。



1日目、医療現場の説明、自分の手の汚れ具合を検査し、正しい手洗い方法を体験。

2日目、看護師、看護補助者とともに患者様のベッド周囲の環境整備、入浴介助の手伝い、血圧測定、車いす体験。

3日目、手術室で手術器械に触れシ

ミュレーションを体験、臨床検査科、理学療法室、薬剤科、放射線科の仕事を見学体験。

4日目、デイサービス・外来で患者さんとのコミュニケーション方法を体験。

5日目、サービス付き高齢者住宅見学、透析センター、健康管理センター見学。医療現場のトライやる・ウィーク体験は戸惑いや驚きの連続で、命の大切さ、厳しさ、責任の重さや多職種がチームで患者さんの治療を行っていること等を知り、また挨拶や笑顔でのコミュニケーションは相手をハッピーに出来るということも学んでもらえました。彼らの一生懸命な取り組みは、患者様や職員へ元気を運んでくれました。



ふれあい看護

平成29年7月28日に高校生を迎えてふれあい看護体験を行いました。

年々、ふれあい看護体験の参加申し込み者は増えており、それだけ看護師または医療職に関心をもって自分の将来を見据えた学生さんが多いことに驚くばかりです。

今年度は明石市内の高校、播磨・高砂・神戸から元気な女子高校生が10名参加され、朝から看護師の制服に着替え、長い髪は一つにまとめ、どこから見ても看護師さんというスタイルで、シーツ交換や食事の配膳や下膳、患者さんとお話をしたり手術室の見学や手洗い研修などを行いました。

1日だけの体験ではありましたが、高校生の皆さん



は人と人が関わる時、相手のことを感じながら気づきながら一つのケアを行う大切さや患者さんの思いなどを感じとり、再度自分自身が進む道を心新たに決めたようです。

私たちにとっても元気をもらえる1日となりました。



- 交通機関をご利用の方**
- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
 - 「大久保」駅北口より神姫バス
 - ②のりば 19「山手台」行き
 - ③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分
- 車をご利用の方**
- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

特定医療法人 誠仁会
大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1
tel. (078) 935-2563
<http://www.seijinkai.or.jp/okubo/index.html>

第8回 大久保地区病診連携の会を開催しました



平成29年8月19日、西明石キャッスルプラザホテル3階にて、第8回大久保地区病診連携の会を開催しました。お盆明けのまだまだ暑さが続く中、土曜日の夕方にも関わらず、多数の先生方にご参加いただきました。

今回は慢性腎臓病の管理をテーマとして、2つの講演を行いました。

まず一般演題として、当院腎臓内科の山本聡医師より、「当院におけるIgA腎症に対する扁桃ステロイドパルス療法の治療報告」について講演をさせていただきました。

検尿異常に対し当院で施行した腎生検によりIgA腎症と診断された症例に対し、両口蓋扁桃摘出術を施行後、ステロイドの点滴を行う扁桃ステロイドパルス療法を行った結果について、その有効

性を報告いたしました。

続いて、特別講演として、兵庫医科大学 内科学腎・透析科主任教授の中西健先生より、「慢性腎臓病(CKD)患者の管理：腎臓専門医は何を目指すか」と題しまして、ご講演いただきました。

慢性腎臓病の基礎的な知識から、尿蛋白や電解質異常の管理の重要性などを最新の知見を交えながら、非常にわかりやすくご講演いただきました。講演後、諸先生方から多数の活発な討論があり、非常に有益な講演会となりました。

今回の講演会が、大久保地区における慢性腎臓病診療の発展に貢献できれば幸いです。蛋白尿、血尿などの検尿異常や腎機能障害などがありましたら、当院の腎臓内科受診をお願い致します。





第7回 大久保地区 病診連携の会 [報告]



平成29年7月8日に、整形外科・脊椎疾患をテーマとして、第7回大久保地区病診連携会を開催しました。当院脊椎外科・腰痛センターの石井崇大センター長より、「脊椎疾患の手術療法」と題して、脊椎の手術手技・方法を中心に、患者様の術後の回復状態の報告を交えながら講演を行いました。

次に、「脊椎疾患のブロック・薬物療法」と題して、

当院麻酔科の井谷基医師より、保存的療法としてのブロック注射や内服薬の使用方法、治療効果について講演を行いました。

最後に、特別講演として、名古屋市のよしだ整形外科クリニック院長の吉田眞一先生より、「超音波で診て、Fasciaリリースで治す腰臀部痛—仙腸関節性腰痛とその関連疼痛を中心に—」と題してご講演いただきました。

超音波で筋膜をはがす治療方法は画期的であり、今後の腰痛治療に新たな領域の側面を感じることができました。昨今メディアにおいても、筋膜リリースによる腰痛・肩こり体操などが話題となっており、参加された先生方や医療関係者からも多くの質問が出たなど、有意義な病診連携の会となりました。



新任医師紹介



消化器内科 堀 和敏

卒業年度：平成2年
認定医：日本内科学会・総合内科専門医／日本消化器病学会・専門医
その他多数

本年7月より大久保病院内科に勤務することになりました堀と申します。

私は鳥取県米子市生まれの、姫路育ちです。平成2年に兵庫医科大学を卒業後、本年6月まで27年間母校に勤めました。得意とする分野は、消化器内科の中のいわゆる胃腸科です。胃痛や下痢など、慢性の消化器症状の診断や治療、ピロリ菌が関係する病気の治療、良

性か悪性かを調べる組織検査を含めた、正確な内視鏡診断などの診療業務を、母校で行ってまいりました。

また、肺炎などの一般的な病気や、高血圧症などの生活習慣病に対する、総合的な診療も得意としています。

これまでの経験を生かして、地域の皆様の健康に少しでも貢献できましたら幸いです。お気軽にご相談下さい。どうぞよろしくお願い致します。



整形外科 川西 洋平

卒業年度：平成17年
認定医：日本整形外科学会認定整形外科専門医／リウマチ学会
日本手外科学会認定手外科専門医

平成17年に大阪医科大学を卒業し、大阪府と兵庫県の複数の病院で整形外科医として働いてきました。大久保病院には、今年の6月より、整形外科の非常勤医師として毎週木曜日に勤務しており、地域からの信頼が厚い病院であることと働きやすい職場であることを実感しております。

私の専門は、手・肘の外科です。特に、手の外科は、専門の医師でないと適切な診断と治療がなされないことがあるため、日本手外科学会による専門医制度が確立されています。現在、当院には、私を含め2名の認定専門医が非常勤で勤務しております。是非、手の症状でお困りの方がおられましたらご紹介ください。

イベント紹介



夏祭り

緩和ケア病棟

緩和ケア病棟では楽しいひと時を過ごして頂けるように季節折々の催し物を行っています。8月は夏祭りを行いました。多くの患者様やご家族様・ご遺族様に参加して頂き、射的・すいか割り・ヨーヨー釣り・わなげなどのゲームで盛り上がる横で大人気のたこ焼き・焼きそば・かき氷・フランクフルト等を振る舞いました。

短時間でしたが、沢山の笑顔を見ることが出来、スタッフ一同、思い出に残る1日となりました。



七夕祭

療養型病棟

療養型病棟では毎年恒例のイベントとして、7月は七夕祭を開催しました。

患者様、スタッフ共に七夕の歌を一緒に歌ったり、短冊にそれぞれの願いを書いて笹へ取り付けたりと、笑顔や笑い声、中には喜びに涙を流される患者様も見られ、楽しい憩いの時間を過ごすことが出来ました。これからも患者様に喜んで頂けるよう病棟スタッフ一同、頑張っていきたいと思っております。



手作りのボウリングゲームなどで盛り上がりました!

2階北病棟紹介

2階北病棟は整形外科を主とする外科、婦人科の周手術期病棟です。

腰、膝、肩、大腿骨などの整形外科疾患、胃や大腸などの外科疾患、子宮筋腫や卵巣嚢腫の婦人科疾患と疾患も様々で年齢層も幅広いです。

様々な疾患に関わる分、学習も必要ですがその分患者様から学べる事が多く、日々回復される患者様の姿を見るのが私たちの喜びであり、その事に感謝して日々仕事に励んでいます。

患者様に安心して入院生活を送っていただけるよう質の高い温かい看護の提供を心掛け、不安なく手術を受けることができ、手術後は異常の早期発見に努め早期離床ができるよう、患者様の笑顔のためにスタッ

フー同はじける笑顔と若いエネルギーで看護を提供しています。

